

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	孫育てをするシニア世代の交流の場-じじ・ばばのカフェ-の効果				
研究組織	代 表 者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	池田 麻左子
	研究分担者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	大和田 裕美
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発 表 者	所属・職名	看護学部・助教	氏名	池田 麻左子

講演題目
祖父母による孫育てを支援する ―孫育てカフェを開催して―
研究の目的、成果及び今後の展望
【研究の目的】 本研究の目的は、祖父母の孫育てへの思いや現状を明らかにし、祖父母が孫育てに参画するために必要な課題を検討することである 【成果および今後の展望】 成果：実施内容及び実施結果 孫育てに関心をもつ祖父母が集い、仲間づくりができるイベントの開催を企画・運営した。 テーマ：『孫育てカフェ ～語ろう じーじ・ばーばの孫育て～』 開催場所：県内における2つの会場 募集人数：孫育てに関わる（孫育ての経験の有無を除外）祖父母を、2つの会場で10名ずつ募集した。 開催の意図：参加者同士が孫育てに関する思いや経験を語り合う場となること、語り合うことによって孫育てをイメージし、孫育てに求められる祖父母としての自身の役割を考える場とすること、そして参加したことによって得られた知識や技術を孫育てに活かすためにできること（できそうなこと）を考える場と祖父母が交流する場の構築を目指した。 内容：参加者同士の語り合い、管理栄養士および助産師の講話 実施評価：参加者へのアンケートを実施し、その結果を集計した。 倫理的配慮：参加者にアンケートの目的および回答の有無により不利益を被らないことを説明した。アンケート結果を学会等で報告することへの同意の有無についての記載を依頼した。アンケートは、無記名、イベント会場の記載は不要とし、個人情報特定されないように努めた。 成果：結果および考察 参加者に実施したアンケート結果を集計した。集計結果として、孫育てに関わる祖父母の思いや考え、孫育ての現状を明らかにできた。また、今後も繰り返し参加することへの意欲が得られ、今後も継続した開催の必要性が示唆された。イベントの継続においては、祖父母が行う日々の孫育てに活用できる内容を検討し、参加者体験型の内容に発展することによって、より質の高い祖父母の孫育て支援の継続につながると考える。また、祖父母が孫育てに参画するために必要な課題として、参加者のニーズを基に、イベントの開催時期や場所の検討も重要である。並行して、イベントに必要な、企画・運営者、実施者の維持・確保も課題であると考えている。 今後の展望 祖父母による孫育ての支援を持続するために、行政と協働するシステムを構築し、教育機関としての地域貢献に寄与する役割を担っていきたい。